

平成22年11月24日  
【照会先】  
大臣官房統計情報部  
人口動態・保健統計課保健統計室  
室長 武田 康久  
室長補佐 木戸 祐治  
(担当・内線) 調査係(7526)  
(電話代表) 03-5253-1111  
(ダイヤルイン) 03-3595-2958

## 平成20年度 国民医療費の概況

### 目 次

#### 国民医療費の範囲と推計方法の概要

1 国民医療費の範囲	1 頁
2 推計方法の概要	2
3 用語の説明	2
4 利用上の注意	2

#### 結果の概要

1 国民医療費の状況	3
2 制度区分別国民医療費	4
3 財源別国民医療費	4
4 診療種別国民医療費	5
5 性、年齢階級別国民医療費	6
6 性、傷病分類別一般診療医療費	8

#### 統計表

第1表 国民医療費、人口一人当たり国民医療費及び対国民所得比率の年次推移	1 0
第2表 制度区分別国民医療費及び構成割合の年次推移	1 1
第3表 財源別国民医療費及び構成割合の年次推移	1 2
第4表 診療種別国民医療費及び構成割合の年次推移	1 3
第5表 性、年齢階級、一般診療－歯科診療別国民医療費、構成割合及び人口一人当たり国民医療費	1 4
第6表 性、傷病分類、入院－入院外、年齢階級別一般診療医療費	1 7

#### 参 考

平成20年度国民医療費の年齢階級別人口一人当たり国民医療費算出に用いた人口 2 3

この概況資料は、厚生労働省のホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)にも掲載されています。

# 国民医療費の範囲と推計方法の概要

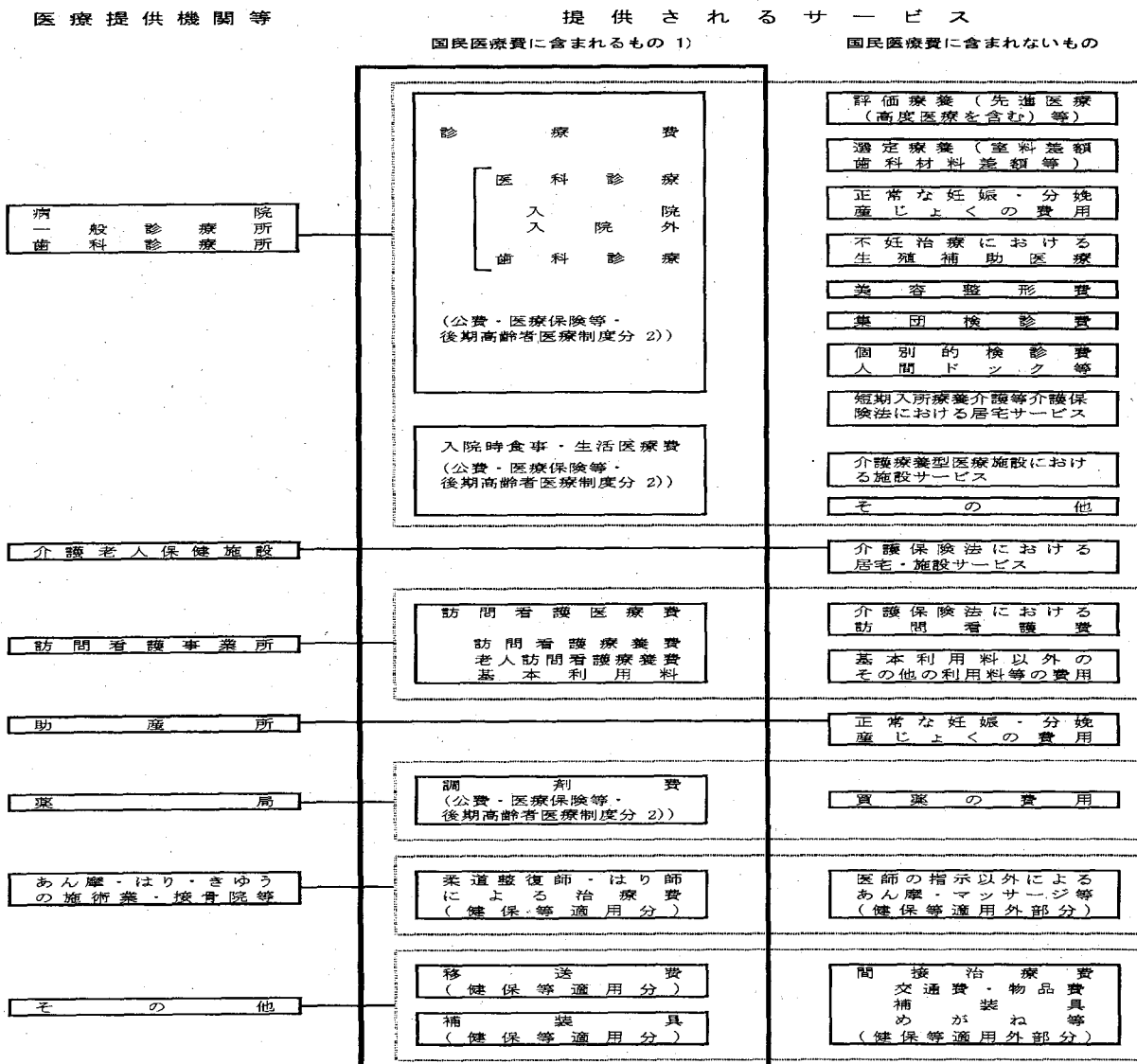
## 1 国民医療費の範囲

「国民医療費」は、当該年度内の医療機関等における保険診療の対象となり得る傷病の治療に要した費用を推計したものである。

保険診療の対象となり得る傷病の治療に要した費用は、実際に医療保険等によって支払われたもの（患者の一部負担分を含む。）、公費負担によって支払われたもの（患者の一部負担分を含む。）、全額自費によって支払われたものによって構成される。保険診療の対象とならない評価療養（先進医療（高度医療を含む）等）、選定療養（入院時室料差額分、歯科差額分等）及び不妊治療における生殖補助医療などに要した費用は含んでいない。

また、傷病の治療費に限っているため、(1) 正常な妊娠・分娩に要する費用、(2) 健康の維持・増進を目的とした健康診断・予防接種等に要する費用、(3) 固定した身体障害のために必要とする義眼や義肢等の費用も含まない。

### 国民医療費の範囲



注：1) 患者負担を含む。

2) 平成19年度までは老人保健制度である。

## 2 推計方法の概要

国民医療費は、以下の(1)～(3)により制度区分別国民医療費(表2)を算出した。

- (1) 公費負担制度によって国又は地方公共団体の負担する「公費負担医療給付分」、医療保険制度及び労災保険制度等の給付としての「医療保険等給付分」、高齢者の医療の確保に関する法律による医療としての「後期高齢者医療給付分」について、原則として当該年度内の診療についての支払確定額(高額療養費(高額医療費)を含む)。
- (2) 患者負担分のうち(1)の給付に伴う一部負担額の推計値。
- (3) 患者負担分のうち全額自費で支払った費用(自賠責保険による支払い、または保険診療の対象となり得る傷病の治療に要した費用の全額を自費で支払ったもの)の推計値。

次に、上記国民医療費をもとに財源別国民医療費(表3)、診療種類別国民医療費(表4)、年齢階級別国民医療費(表5)、傷病分類別一般診療医療費(表6)を、各種調査による割合を用いて按分し、推計した。

## 3 用語の説明

### (1) 財源別国民医療費

公費	公費負担医療制度、医療保険制度、後期高齢者医療制度等への国庫負担金及び地方公共団体の負担金
保険料	医療保険制度、後期高齢者医療制度、労災保険制度等の給付費のうち、事業主と被保険者や国民健康保険の被保険者が保険料(税)として負担すべき額
その他	患者負担及び原因者負担(公害健康被害の補償等に関する法律による補償給付及び健康被害救済制度による救済給付)

### (2) 診療種類別国民医療費

一般診療医療費	医科診療にかかる診療費、健康保険等給付対象となる柔道整復師・はり師等による治療費、移送費、補装具等
歯科診療医療費	歯科診療にかかる診療費
薬局調剤医療費	医師の発行する処方箋により保険薬局を通じて支給される薬剤等の額(調剤基本料等技術料と薬剤料の合計)
入院時食事・生活医療費	平成17年度まで「入院時食事医療費」(入院時食事療養費及び標準負担額の合計額)、平成18年度から入院時食事療養費、食事療養標準負担額、入院時生活療養費及び生活療養標準負担額の合計額
訪問看護医療費	訪問看護療養費、老人訪問看護療養費及びそれぞれの基本利用料の合計額

## 4 利用上の注意

### (1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
推計数が表章単位の1/2未満、又は比率が微小の場合	0, 0.0
減少数(率)の場合	△
訂正数値である場合	r

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合もある。

(3) 平成17年度国民医療費より「公費負担医療給付分」のうち地方公共団体単独実施に係る医療費の把握方法を変更したことに伴い、制度区分別国民医療費及び財源別国民医療費における公費負担及び患者負担の数値を平成8年度に遡って変更しており、平成16年度国民医療費とは異なる数値となっている。

## 結果の概要

### 1 国民医療費の状況

平成20年度の国民医療費は34兆8084億円、前年度の34兆1360億円に比べ6725億円、2.0%の増加となっている。

人口一人当たりの国民医療費は27万2600円、前年度の26万7200円に比べ2.0%増加している。国民医療費の国民所得に対する比率は9.90%（前年度9.02%）となっている。

（図1、表1）

図1 国民医療費と対国民所得比の年次推移

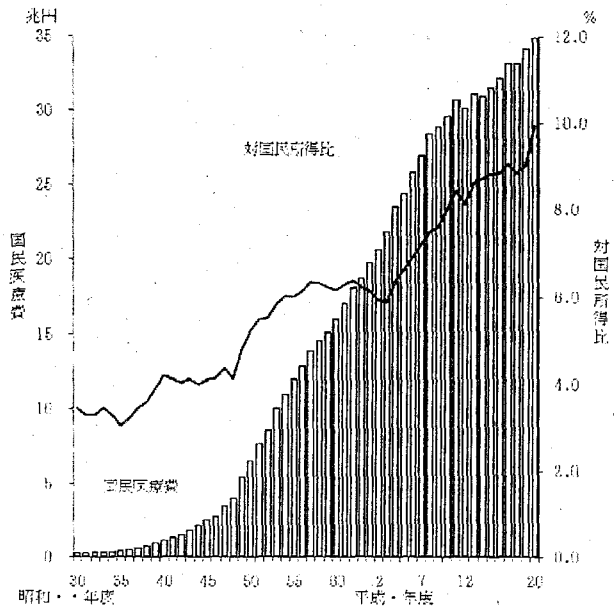


表1 国民医療費と国民所得の年次推移

年次	国民医療費		人口一人当たり国民医療費		国民所得		国民医療費の 国民所得に対 する比率 (%)
	(億円)	対前年度 増減率 (%)	(千円)	対前年度 増減率 (%)	(億円)	対前年度 増減率 (%)	
昭和29年度	2 152	...	2.4	...	...	...	...
30	2 388	11.0	2.7	12.5	69 733	...	3.42
40	11 224	19.5	11.4	17.5	268 270	11.5	4.18
50	64 779	20.4	57.9	19.1	1 239 907	10.2	5.22
60	160 159	6.1	132.3	5.4	2 605 599	7.2	6.15
61	170 690	6.6	140.3	6.0	2 679 415	2.8	6.37
62	180 759	5.9	147.8	5.3	2 810 998	4.9	6.43
63	187 554	3.8	152.8	3.4	3 027 101	7.7	6.20
平成元年度	197 290	5.2	160.1	4.8	3 208 020	6.0	6.15
2	206 074	4.5	166.7	4.1	3 468 929	8.1	5.94
3	218 260	5.9	176.0	5.6	3 689 316	6.4	5.92
4	234 784	7.6	188.7	7.2	3 660 072	△ 0.8	6.41
5	243 631	3.8	195.3	3.5	3 653 760	△ 0.2	6.67
6	257 908	5.9	206.3	5.6	3 700 109	1.3	6.97
7	269 577	4.5	214.7	4.1	3 689 367	△ 0.3	7.31
8	284 542	5.6	226.1	5.3	3 801 609	3.0	7.48
9	289 149	1.6	229.2	1.4	3 822 945	0.6	7.56
10	295 823	2.3	233.9	2.1	3 689 757	△ 3.5	8.02
11	307 019	3.8	242.3	3.6	3 643 409	△ 1.3	8.43
12	301 418	△ 1.8	237.5	△ 2.0	3 718 039	2.0	8.11
13	310 998	3.2	244.3	2.9	3 613 335	△ 2.8	8.61
14	309 507	△ 0.5	242.9	△ 0.6	3 557 610	△ 1.5	8.70
15	315 375	1.9	247.1	1.8	3 580 792	0.7	8.81
16	321 111	1.8	251.5	1.8	3 638 976	1.6	8.82
17	331 289	3.2	259.3	3.1	3 658 783	0.5	9.05
18	331 276	△ 0.0	259.3	△ 0.0	3 752 258	2.6	8.83
19	341 360	3.0	267.2	3.0	3 784 636	0.9	9.02
20	348 084	2.0	272.6	2.0	3 515 221	△ 7.1	9.90

注：1)平成12年4月から介護保険制度が開始されたことに伴い、従来国民医療費の対象となっていた費用のうち介護保険の費用に移したものがあがるが、これらは平成12年度以降、国民医療費に含まれていない。

2)国民所得は、内閣府発表の「国民経済計算」（平成21年12月発表）による。

3)人口一人当たり国民医療費を算出するために用いた人口は、総務省統計局による「国勢調査」及び「推計人口」の総人口である。

## 2 制度区分別国民医療費

制度区分別にみると、医療保険等給付分は16兆9548億円（構成割合48.7%）、後期高齢者医療給付分は10兆4273億円（30.0%）、公費負担医療給付分は2兆3310億円（6.7%）となっている。また、患者負担分は4兆9141億円（14.1%）となっている。

対前年度増減率をみると、被用者保険分は2.4%の増加、国民健康保険分は0.2%の増加、患者負担分は2.4%の増加となっている。（表2）

表2 制度区分別国民医療費

制度区分	平成20年度		平成19年度		対前年度	
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	推計額 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	増減率 (%)
国民医療費	348 084	100.0	341 360	100.0	6 725	2.0
公費負担医療給付分	23 310	6.7	23 002	6.7	307	1.3
医療保険等給付分	169 548	48.7	167 576	49.1	1 972	1.2
医療保険	166 798	47.9	164 782	48.3	2 015	1.2
被用者保険	80 038	23.0	78 163	22.9	1 875	2.4
被保険者	39 636	11.4	38 838	11.4	798	2.1
被扶養者	35 964	10.3	34 848	10.2	1 116	3.2
高齢者 1)	4 439	1.3	4 477	1.3	△ 39	△ 0.9
国民健康保険	86 759	24.9	86 619	25.4	140	0.2
高齢者以外	62 368	17.9	61 908	18.1	460	0.7
高齢者 1)	24 391	7.0	24 711	7.2	△ 321	△ 1.3
その他 2)	2 750	0.8	2 793	0.8	△ 43	△ 1.5
後期高齢者医療給付分 3)	104 273	30.0	102 785	30.1	1 488	1.4
患者負担分	49 141	14.1	47 996	14.1	1 144	2.4
軽減特例措置 4)	1 813	0.5	.	.	.	.

注：1) 被用者保険及び国民健康保険適用の高齢者は70歳以上である。

2) 労働者災害補償保険、国家公務員災害補償法、地方公務員災害補償法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法、防衛省職員給与法、公害健康被害の補償等に関する法律及び健康被害救済制度による救済給付による医療費である。

3) 平成20年3月に老人保健制度が廃止となり、平成20年4月から新たに後期高齢者医療制度が創設された。後期高齢者医療給付分には、老人保健制度の請求遅れ分を含む。

4) 平成20年4月からの70～74歳の患者の窓口負担の軽減措置に関する国庫負担分である。

## 3 財源別国民医療費

財源別にみると、国民医療費34兆8084億円のうち、公費分は12兆9053億円（37.1%）、保険料分は16兆9709億円（48.8%）となっている。（表3）

表3 財源別国民医療費

財源	平成20年度		平成19年度		対前年度	
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	推計額 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	増減率 (%)
国民医療費	348 084	100.0	341 360	100.0	6 725	2.0
公費	129 053	37.1	125 744	36.8	3 309	2.6
国庫 1)	87 234	25.1	84 794	24.8	2 439	2.9
地方	41 819	12.0	40 949	12.0	869	2.1
保険料	169 709	48.8	167 426	49.0	2 283	1.4
事業主	71 110	20.4	68 990	20.2	2 120	3.1
被保険者	98 599	28.3	98 436	28.8	163	0.2
その他 2)	49 323	14.2	48 190	14.1	1 132	2.3
患者負担(再掲)	49 141	14.1	47 996	14.1	1 144	2.4

注1) 軽減特例措置は、国庫を含む。

2) 患者負担及び原因者負担（公害健康被害の補償等に関する法律による補償給付及び健康被害救済制度による救済給付）

#### 4 診療種別国民医療費

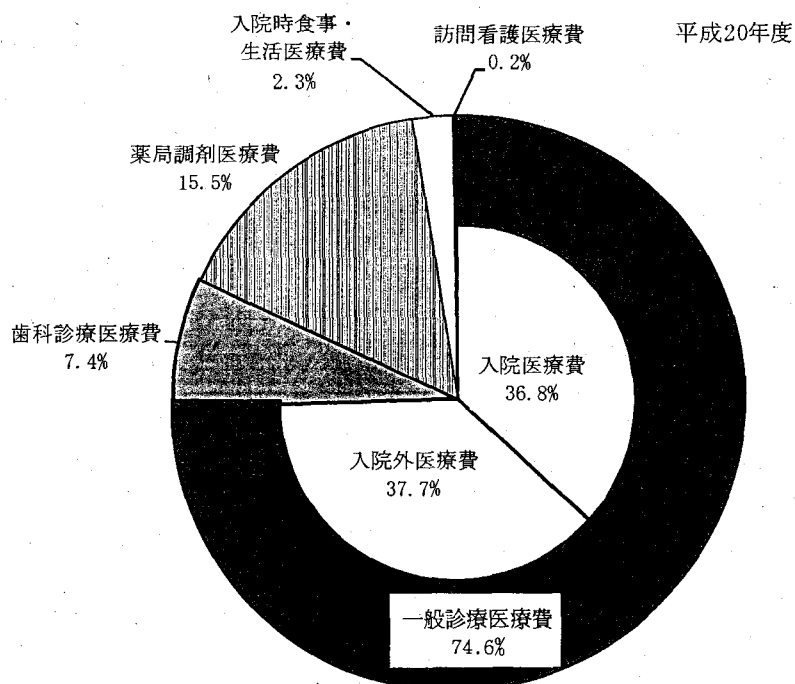
診療種別にみると、一般診療医療費は 25兆9595億円（74.6%）、そのうち入院医療費は12兆8248億円（36.8%）、入院外医療費は13兆1347億円（37.7%）となっている。また、歯科診療医療費は2兆5777億円（7.4%）、薬局調剤医療費は5兆3955億円（15.5%）、入院時食事・生活医療費は8152億円（2.3%）となっている。

対前年度増減率をみると、一般診療医療費は 1.2%の増加、薬局調剤医療費は 5.3%の増加となっている。（表4、図2）

表4 診療種別国民医療費

診療種類	平成20年度		平成19年度		対前年度	
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	推計額 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	増減率 (%)
国民医療費	348 084	100.0	341 360	100.0	6 725	2.0
一般診療医療費	259 595	74.6	256 418	75.1	3 177	1.2
入院医療費	128 248	36.8	126 132	36.9	2 116	1.7
病院	123 822	35.6	121 349	35.5	2 473	2.0
一般診療所	4 426	1.3	4 782	1.4	△ 356	△ 7.4
入院外医療費	131 347	37.7	130 287	38.2	1 060	0.8
病院	50 979	14.6	51 753	15.2	△ 774	△ 1.5
一般診療所	80 368	23.1	78 534	23.0	1 834	2.3
歯科診療医療費	25 777	7.4	24 996	7.3	781	3.1
薬局調剤医療費	53 955	15.5	51 222	15.0	2 733	5.3
入院時食事・生活医療費	8 152	2.3	8 206	2.4	△ 54	△ 0.7
訪問看護医療費	605	0.2	518	0.2	87	16.9

図2 診療種別国民医療費構成割合 (%)



5 性、年齢階級別国民医療費

年齢階級別にみると、0～14歳は2兆2326億円（6.4%）、15～44歳は4兆8362億円（13.9%）、45～64歳は8兆7397億円（25.1%）、65歳以上は18兆9999億円（54.6%）となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、65歳未満は15万8900円、65歳以上は67万3400円となっている。そのうち一般診療医療費では65歳未満が11万4200円、65歳以上が51万7400円となっている。歯科診療医療費では、65歳未満が1万7400円、65歳以上が2万9900円となっている。薬局調剤医療費では、65歳未満が2万4600円、65歳以上が10万4500円となっている。（表5）

表5 年齢階級別国民医療費

年齢階級	平成20年度			平成19年度		
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)	推計額 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)
国民医療費						
総数	348 084	100.0	272.6	341 360	100.0	267.2
65歳未満	158 085	45.4	158.9	158 378	46.4	157.9
0～14歳	22 326	6.4	130.0	21 986	6.4	127.1
15～44歳	48 362	13.9	101.0	48 212	14.1	99.8
45～64歳	87 397	25.1	254.1	88 180	25.8	254.2
65歳以上	189 999	54.6	673.4	182 982	53.6	666.3
70歳以上(再掲)	153 325	44.0	760.0	148 077	43.4	754.5
75歳以上(再掲)	109 711	31.5	830.0	105 479	30.9	830.3
一般診療医療費(再掲)						
総数	259 595	100.0	203.3	256 418	100.0	200.7
65歳未満	113 604	43.8	114.2	115 445	45.0	115.1
0～14歳	16 424	6.3	95.6	16 063	6.3	92.9
15～44歳	33 368	12.9	69.7	33 939	13.2	70.2
45～64歳	63 813	24.6	185.5	65 443	25.5	188.7
65歳以上	145 991	56.2	517.4	140 973	55.0	513.3
70歳以上(再掲)	118 442	45.6	587.1	114 610	44.7	584.0
75歳以上(再掲)	85 493	32.9	646.8	82 313	32.1	647.9
歯科診療医療費(再掲)						
総数	25 777	100.0	20.2	24 996	100.0	19.6
65歳未満	17 330	67.2	17.4	17 126	68.5	17.1
0～14歳	1 977	7.7	11.5	1 939	7.8	11.2
15～44歳	7 072	27.4	14.8	6 773	27.1	14.0
45～64歳	8 281	32.1	24.1	8 413	33.7	24.3
65歳以上	8 447	32.8	29.9	7 871	31.5	28.7
70歳以上(再掲)	5 927	23.0	29.4	5 517	22.1	28.1
75歳以上(再掲)	3 490	13.5	26.4	3 211	12.8	25.3
薬局調剤医療費(再掲)						
総数	53 955	100.0	42.3	51 222	100.0	40.1
65歳未満	24 472	45.4	24.6	23 159	45.2	23.1
0～14歳	3 836	7.1	22.3	3 903	7.6	22.6
15～44歳	7 233	13.4	15.1	6 839	13.4	14.2
45～64歳	13 404	24.8	39.0	12 416	24.2	35.8
65歳以上	29 483	54.6	104.5	28 063	54.8	102.2
70歳以上(再掲)	23 758	44.0	117.8	22 760	44.4	116.0
75歳以上(再掲)	16 721	31.0	126.5	15 866	31.0	124.9

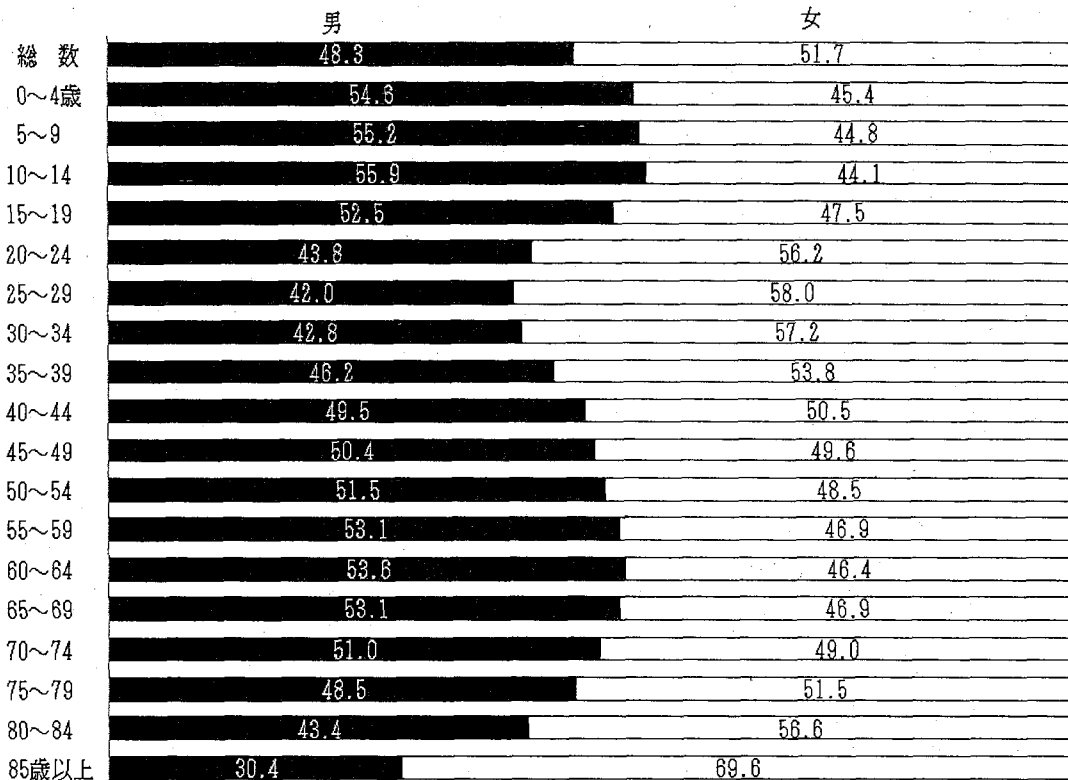
注：年齢階級別の人口一人当たり国民医療費を算出するため、総務省統計局「推計人口」の各年齢階級別人口を分母に用いた。

国民医療費を性、年齢階級別で見ると、20歳未満及び45歳以上75歳未満では男の割合が高く、20歳以上45歳未満及び75歳以上では女の割合が高くなっている。(表6、図3、14～16頁統計表第5表)

表6 性、年齢階級別国民医療費

年齢階級	推計額 (億円)			割合 (%)		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	348 084	167 972	180 112	100.0	48.3	51.7
0～4歳	11 304	6 170	5 134	100.0	54.6	45.4
5～9	6 461	3 567	2 894	100.0	55.2	44.8
10～14	4 562	2 548	2 014	100.0	55.9	44.1
15～19	4 002	2 100	1 902	100.0	52.5	47.5
20～24	5 042	2 211	2 832	100.0	43.8	56.2
25～29	7 059	2 966	4 094	100.0	42.0	58.0
30～34	9 558	4 089	5 469	100.0	42.8	57.2
35～39	11 335	5 238	6 097	100.0	46.2	53.8
40～44	11 365	5 620	5 744	100.0	49.5	50.5
45～49	12 864	6 480	6 384	100.0	50.4	49.6
50～54	16 374	8 441	7 934	100.0	51.5	48.5
55～59	26 593	14 118	12 475	100.0	53.1	46.9
60～64	31 566	16 934	14 632	100.0	53.6	46.4
65～69	36 674	19 489	17 185	100.0	53.1	46.9
70～74	43 614	22 226	21 388	100.0	51.0	49.0
75～79	43 651	21 154	22 497	100.0	48.5	51.5
80～84	34 935	15 167	19 768	100.0	43.4	56.6
85歳以上	31 125	9 455	21 670	100.0	30.4	69.6

図3 国民医療費の年齢階級別男女比





6 性、傷病分類別一般診療医療費

一般診療医療費を主傷病による傷病分類別にみると、「循環器系の疾患」5兆2980億円(20.4%)が最も多く、次いで「新生物」3兆3121億円(12.8%)、「呼吸器系の疾患」2兆186億円(7.8%)、「腎尿路生殖器系の疾患」1兆9273億円(7.4%)、「筋骨格系及び結合組織の疾患」1兆9223億円(7.4%)となっている。

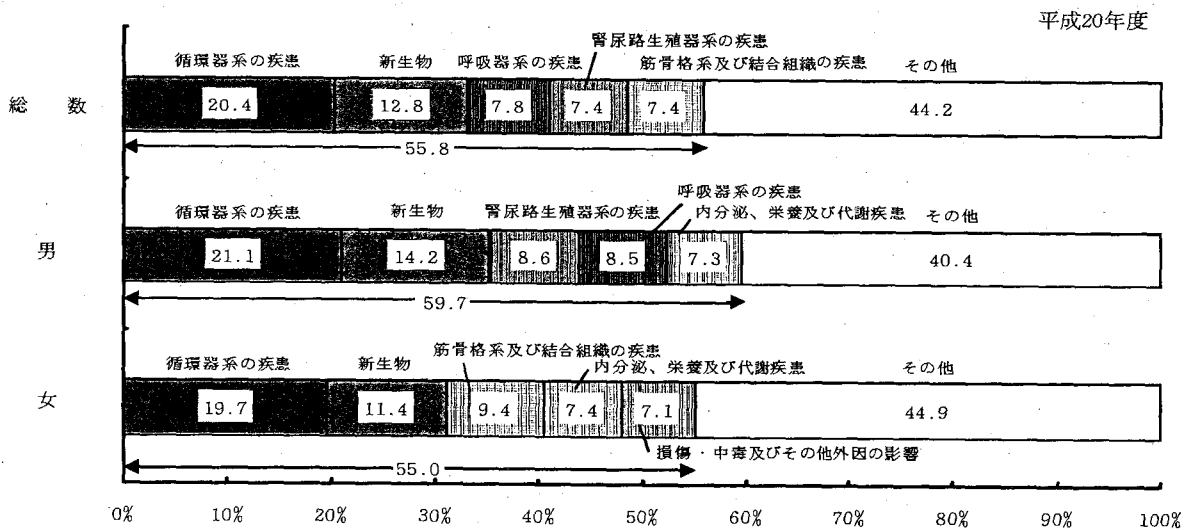
65歳未満では「新生物」1兆3997億円(12.3%)が最も多く、65歳以上では「循環器系の疾患」3兆9595億円(27.1%)が最も多くなっている。(表7)

また、男女別にみると、男では「循環器系の疾患」、「新生物」、「腎尿路生殖器系の疾患」が多く、女では「循環器系の疾患」、「新生物」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が多くなっている。(図4)

表7 上位5傷病別一般診療医療費

傷病分類	平成20年度		平成19年度	
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	推計額 (億円)	構成割合 (%)
一般診療医療費				
総 数	259 595	100.0	256 418	100.0
循環器系の疾患	52 980	20.4	54 353	21.2
新 生 物	33 121	12.8	30 716	12.0
呼吸器系の疾患	20 186	7.8	21 191	8.3
腎尿路生殖器系の疾患	19 273	7.4	21 389	8.3
筋骨格系及び結合組織の疾患	19 223	7.4	18 433	7.2
そ の 他	114 812	44.2	110 337	43.0
65歳未満				
総 数	113 604	100.0	115 445	100.0
新 生 物	13 997	12.3	13 240	11.5
循環器系の疾患	13 385	11.8	13 898	12.0
呼吸器系の疾患	12 249	10.8	12 725	11.0
精神及び行動の障害	10 587	9.3	11 350	9.8
腎尿路生殖器系の疾患	8 466	7.5	10 535	9.1
そ の 他	54 922	48.3	53 697	46.5
65歳以上				
総 数	145 991	100.0	140 973	100.0
循環器系の疾患	39 595	27.1	40 455	28.7
新 生 物	19 125	13.1	17 476	12.4
筋骨格系及び結合組織の疾患	12 061	8.3	11 521	8.2
内分泌、栄養及び代謝疾患	11 271	7.7	9 871	7.0
腎尿路生殖器系の疾患	10 808	7.4	10 853	7.7
そ の 他	53 129	36.4	50 799	36.0

図4 上位5傷病別一般診療医療費構成割合 (%)



注 1) 傷病分類は、「第10回修正国際疾病、傷害及び死因分類」による。  
2) 「その他」とは、上位5傷病以外の傷病である。